



RIテーマ ROTARY : MAKING A DIFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

クラブテーマ 『 それでこそロータリー！ 』

2017-2018

第30回例会

# 会報 No. 1028 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：中嶋秀樹 副会長：伴 和信 幹事：柳瀬秀昭 会報・雑誌委員長：金子和久

平成 30 年 2 月 14 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：会報・雑誌

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」 唱和：小笠原 竜児 さん

ゲスト 公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事 加藤 勝敏 氏

| 出席報告 | 会員総数 | 計算会員 | 出席免除者数 | 欠席  | 出席率    | 1月31日修正出席率 | ビジター |
|------|------|------|--------|-----|--------|------------|------|
|      | 43名  | 41名  | 3名     | 14名 | 65.85% | 82.50%     | 0名   |

## 会長挨拶 中嶋 秀樹 会長

平昌オリンピックの真最中です。男子モーグルの堀島選手は私の同級生の甥っ子です。準決勝で敗退しましたが、銅メダルの原選手に彼が涙して喜んだと聞いて、アスリート同士の複雑な気持ちを乗り越えた友情を感じました。

先週末豊橋クラブの人達と八方尾根と岩岳にスキーに行ってきました。3分の1は外人スキーヤーで、リフト乗場の係員やレストハウスの給仕係にも外人がいて、今や日本は外人観光客なくしてはやっていけないと実感しました。

そのスキーの帰りに飯田辺りで三遠南信道の看板が出てきます。また三ヶ日ジャンクションにも飯田方面の看板があります。その看板に従って飯田に向うとすぐに下道に入ってしまう。我々スキーヤーはこの道の開通を心待ちにしています。

## 本日のプログラム

### 『 三遠南信地域の現状 』

公益社団法人東三河地域研究センター  
常務理事 加藤 勝敏 氏

「三遠南信」って何？というところから始めます。最初にこの言葉が出てきたのは、昭和 26 年の天竜東三河総合開発（佐久間ダムをはじめとするダム開発が中心）でした。その後、昭和 62 年の全国総合開発では、「三遠南信自動車道」が国道として構想され、平成 6 年には第一回の三遠南信サミットが開催され現在に至り、今年 10 月に豊橋で開催される際は、三遠南信に関する新ビジョンを策定することとなっています。三遠南信は、東三河（豊橋）・遠州（浜松）・南信濃（飯田）を中心として、愛知県・静岡県・長野県の 3 つの県に跨る県境地域です。人口は 247 万人（全国 14 位）、工業出荷額約 5 %（全国 5 位）、農業産出額約 4%（全国 6 位）であり、一言で言えばなかなかの地域です。特徴としては、



中心都市の昼夜人口が 1.0 未満で、産業集積が中心都市以外の周辺地域に展開していることです。東三河では豊川市の人口増加が顕著です。また、地域内はもちろん、地域外との取引も活発化し経済活動は広域化しつつあります。課題としては、事前環境の保全と活用、人口減少と長寿化への対応、人材の確保と定着、創業起業の推進、福祉医療機能の整備などがあります。今後の注力事業としては、豊かな農林水産資源の育成、国際的なゲートウェイである港の整備、観光産業の推進などに取り組んでいく必要があります。現在、産官学金の連携の下、新三遠南信地域連携ビジョンを策定中です。キーワードは、「道」・「技」・「風土」・「住」・「人」と定め、①三遠南信交通ネットワーク PJ、②三遠南信圏民の一体感醸成 PJ、③地域の稼ぐ力 PJ、④三遠南信探訪 PJ、⑤中山間地域が輝く PJ、⑥住むなら三遠南信 PJ、⑦人生 100 年時代 PJ を走らせる案を検討中です。

## 3分間スピーチ 鎌田 哲也 さん

本日はヴァレンタイン・デー、日本では女性が男性にチョコレートを贈る日ということになっています。先日、ゴディバが「日本は義理チョコをやめよう」という広告を全国紙に出し話題になっています。義理、と言う言葉は義務という言葉に通じ、企業などで無理をして上司にチョコをあげる構図が目につかびます。バブル期などは女性も男性もウキウキとしていたようですが、最近では女性は「もったいない」男性は「お返しが大変」ということで熱が冷めてきているようです。ゴディバに対抗するように、わが豊橋が誇る有楽製菓のブラックサンダーは「安心して渡せる義理チョコ」という広告を打ちました。こうなるとどちらに転んでも話題性からチョコは売れるということになるのかもしれませんが、贈った方も贈られた方もハッピーになるような習慣でありたいものです。



写真／原稿：角谷 歩 さん